

令和8年度 鹿児島市水道事業の予算概要

【予算総額】 215億3,710万円（対前年度比6.0%増）

(1) 収益的収入及び支出（税込）

（単位：千円）

項目	内容	令和8年度 当初予算額 (A)	令和7年度 当初予算額 (B)	比較 (A) - (B)
水道事業収益		11,797,977	11,825,441	△ 27,464
営業収益	水道料金など	10,992,304	11,034,187	△ 41,883
営業外収益	長期前受金戻入など	805,629	791,254	14,375
特別利益	固定資産売却益	44	0	44
水道事業費		11,098,000	10,782,500	315,500
営業費用	減価償却費、職員給与費、委託料など	10,525,022	10,203,640	321,382
営業外費用	企業債利息など	557,728	563,610	△ 5,882
特別損失		3,250	3,250	0
予備費		12,000	12,000	0
収支差引		699,977	1,042,941	△ 342,964
純利益（税抜）		122,770	477,985	△ 355,215

(2) 資本的収入及び支出（税込）

（単位：千円）

項目	内容	令和8年度 当初予算額 (A)	令和7年度 当初予算額 (B)	比較 (A) - (B)
資本的収入	企業債、工事負担金など	3,104,124	3,354,020	△ 249,896
資本的支出	建設改良費、企業債償還金など	10,439,100	9,533,800	905,300
収支差引		△ 7,334,976	△ 6,179,780	△ 1,155,196

【主な事業】

（単位：千円）

	事業名	内容	令和8年度 当初予算額
1	給水装置・排水設備工事申請手続きの電子化	給水装置・排水設備工事に電子申請システムを導入し、申請者のさらなる利便性向上と職員の業務効率化を図る。 （上下水道事業合計 事業費401千円）	267
2	【拡充】 PFAS（水質検査）	PFOS及びPFOAが水道法上の水質基準に追加され、その検査が義務化されることから、水質検査体制を拡充する。	4,427
3	水道管路更新事業	中長期的な更新需要を見据えた更新計画に基づき、水道管の更新を行う。	2,800,469
4	水道施設更新事業	中長期的な更新需要を見据えた更新計画に基づき、浄水場やポンプ所等の設備の更新を行う。	387,549
5	水道施設等整備拡充事業	安全で良質な水の安定供給を図るため、郡山送水施設や芝原ポンプ所の整備を行う。	887,256
6	水道施設耐震化事業	大規模な地震が発生した場合でも被害を最小限に抑えるため、水道施設の計画的な耐震化を行う。	427,449
7	水道管路耐震化事業	大規模な地震が発生した場合でも被害を最小限に抑えるため、基幹管路等の計画的な耐震化を行う。	574,651 （うち、R8年2月補正 426,917）
8	水道施設長寿命化事業	中長期的な更新需要を見据えて、水道施設の計画的な長寿命化を行う。	76,850
9	河頭浄水場（甲系統の浄水施設）更新事業	河頭浄水場の甲系統の浄水施設は、施設の老朽化が進んでおり、耐震性も劣っていることから更新を行う。	83,504